

2020年3月修了 応用化学コース修士論文発表会

【発表時間】修士修了：発表15分－質疑9分－交代1分，進学予定者：発表15分－質疑14分－交代1分

開催日：2020年2月6日（木）

会場：大岡山キャンパス 南4号館 S421講義室

時間	発表者	指導教員	論文題目
9:00-9:25	木下 涼香	田中 健	ロジウム触媒を用いた[2+2+2]付加環化反応による安定ならせん不斉を有するダブルヘリセンの不斉合成
9:25-9:55	越川 拓海	田中 健	金触媒を用いたピリリウム中間体を經由するエンイノン類の分子内環化反応
9:55-10:20	鈴木 峻介	田中 健	ロジウム触媒を用いた1,6-エンインと配位性官能基を有するアルケンとの不斉付加環化反応の開発
10:20-10:45	吉村 凌	田中 健	修飾シクロペンタジエニルロジウム(III)触媒を用いたC-H結合活性化を經由する酸化的カップリング反応の開発
10:45-11:10	池尻野 亮太	富田 育義	結晶化による高分子ナノ構造体の自発形成を伴うアレン類のリビング配位ブロック共重合
11:10-11:35	浅見 里奈	富田 育義	アレン類のリビング配位重合に基づく刺激応答性磁性ナノ粒子の構築
11:35-12:00	大月 一晃	伊藤 繁和	ハロゲン官能基を有する共役拡張型ホスファルケンの合成と性質
12:00-13:10	昼休み		
13:10-13:35	小松 孝道	伊藤 繁和	ベンゾフェノンおよびアゾベンゼンを動的キラル骨格とする二核金錯体の合成と不斉触媒への応用研究
13:35-14:00	余川 晃崇	伊藤 繁和	新規CF ₂ H-ホウ素導入剤の開発とFAMT基盤BNCT薬の合成研究
14:00-14:25	清澤 はな	斎藤 礼子	HLB値を因子とする水滴と媒体間の界面状態によるシリカ微粒子の構造制御
14:25-14:50	坂口 哲生	斎藤 礼子	有機-シリカ界面における共有結合の形成によるエポキシ-シリカ複合体の特性制御
14:50-15:15	伊藤 健太	吉沢 道人	湾曲型ベンタセン骨格を有する π -スタッキングカプセルの自己集合と分子内包
15:15-15:40	土橋 大樹	吉沢 道人	アントラセン環を有する分子カプセル：窒素ドーピングによる空間機能改変
15:40-15:55	休憩		
15:55-16:20	二木 啓太	吉沢 道人	アントラセン環を有する金属架橋カプセル：長鎖不飽和炭化水素骨格の識別と安定化
16:20-16:45	華房 真実子	吉沢 道人	シクロアルキル基を有するV型両親媒性分子：水中での分子内包とその性質
16:45-17:10	小栗 綾華	石曽根 隆	5位に置換基を有する2-ビニルチオフェン類のアニオン重合
17:10-17:35	鈴木 まりか	石曽根 隆	1,1-ジ(2-ピリジル)エチレンのリビングアニオン付加反応による定序性高分子の合成
17:35-18:00	根本 雄基	石曽根 隆	<i>N,N</i> -ジアルキルメタクリルアミド誘導体のアニオン平衡重合

開催日：2020年2月6日（木）

会場：大岡山キャンパス 南6号館 S611講義室

時間	発表者	指導教員	論文題目
9:30-9:55	檜脇 悠輔	川内 進	トリブチセン誘導体の自己集合に及ぼす側鎖効果の分子動力学的研究
9:55-10:20	石山 裕輝	川内 進	ニトリルオキシドの失活機構の理論的解明
10:20-10:45	上田 直輝	芹澤 武	繊維状ウイルスの階層的な集合体形成と熱伝導性材料への展開
10:45-11:10	齋藤 政司	芹澤 武	カルボキシ基をもつセルロースオリゴマーの酵素合成と複合材料化
11:10-11:35	鶴岡 大樹	芹澤 武	化学修飾した機能性繊維状ウイルスを用いる熱伝導性フィルムの創製
11:35-12:00	丹羽 達也	芹澤 武	水溶性高分子に結合するペプチドの探索と液-液相分離系への展開
12:00-12:25	前田 亨	芹澤 武	自己集合化セルロースオリゴマーを用いる三次元細胞培養
12:25-13:25	昼休み		
13:25-13:50	沖永 祐樹	中嶋 健	ナノ触診AFMによる充填剤補強ゴムのナノ力学物性研究
13:50-14:15	野村 竜生	中嶋 健	イソブレンゴムの伸長下における不均一構造及び伸長結晶化の研究
14:15-14:40	原 光貴	中嶋 健	ナノ触診原子間力顕微鏡による反応誘起型ポリマーアロイの物性研究
14:40-15:05	春野 颯	中嶋 健	ナノ触診AFMによる非粘弾性ポリマー-ナノアロイのナノ力学物性研究
15:05-15:30	鏡原 佑樹	古屋 秀峰	固体状態におけるポリアスバルテート配向集合体の主鎖らせん反転に伴うマクロな異方的変形挙動
15:30-15:55	松本 悠希	古屋 秀峰	二次元相関ラマン分光法によるポリアスバルテートの主鎖らせん反転機構の解明
15:55-16:20	三浦 大暉	古屋 秀峰	分子動力学シミュレーションによるロタキサン構造を有するマクロサイクル触媒の動的特性解析
16:20-16:45	神里 知弥	下山 裕介	二酸化炭素による融点降下を利用した医薬物質複合体の形成
16:45-17:10	鳥田 勇介	下山 裕介	超臨界エマルション抽出を利用したナノ脂質分散液の連続製造に関する研究
17:10-17:40	SHOFIYAH SAKINAH	下山 裕介	Fabrication of Carbon Nanofiber and Chitosan Aerogel in Supercritical CO ₂

開催日：2020年2月6日（木）

会場：大岡山キャンパス 南4号館 S423講義室

時間	発表者	指導教員	論文題目
9:00-9:25	高月 かほり	安藤 慎治	強い電荷移動相互作用を有するポリイミドの光電導特性の分子構造依存性と光電導機構の解析
9:25-9:50	藤田 恵実	安藤 慎治	ポリイミド薄膜の熱光学測定と陽電子消滅法に基づく体積熱膨張と自由体積の相関解析
9:50-10:15	奈良 麻優子	安藤 慎治	真空および温度可変条件下における高発光性ポリイミドの蛍光・燐光特性解析
10:15-10:40	関口 陽	青木 オ子	リン系添加剤の境界潤滑特性に及ぼす表面粗さ形状の影響

10:40-10:50	休憩		
10:50-11:15	阿部 大樹	福島 孝典	二面性ポリインデノフルオレンの合成と性質
11:15-11:40	荒井 由土	福島 孝典	9-ボラフルオレン誘導体を用いた歪みアルキンの芳香環化による湾曲 π 電子系の構築
11:40-12:05	大澤 佐保	福島 孝典	機能団の固体表面への垂直配向吸着を可能にする新規分子三脚の開発
12:05-13:20	昼休み		
13:20-13:45	伊藤 由実子	大塚 英幸	ジエタノールアミンとボロン酸の反応性を利用したエポキシ樹脂修飾法の開発
13:45-14:10	鶴岡 あゆ子	大塚 英幸	嵩高いジスルフィド結合の熱交換反応に基づく異種架橋高分子網目の融合
14:10-14:35	星野 文香	大塚 英幸	テトラアリアルスクシノニトリル骨格を用いたメカノクロミック材料の創製
14:35-15:05	渡部 拓馬	大塚 英幸	メカノクロミックデンドリマーの化学構造が力学応答特性に及ぼす影響
15:05-15:30	阿部 優輝	野島 修一	シリンドー状ミクロ相分離構造を有する結晶性-結晶性2元ブロック共重合体の同時結晶化学動
15:30-15:40	休憩		
15:40-16:05	濱田 悠司	野島 修一	側鎖にイソプロピル基を有する置換型ポリ乳酸結晶の構造・物性相関
16:05-16:30	AL-AISAE Aaisha Mohammed Ali Khames	久保内 昌敏	Simultaneous measurements of sound velocity and thickness by ultrasonic testing methods for FRP storage tanks
16:30-16:55	会田 虎司郎	久保内 昌敏	高分散グラフェンをフィラーとして用いたエポキシナノ複合材料の機械的特性向上の検討
16:55-17:20	石田 秀征	久保内 昌敏	スモールパンチ試験によるウレア樹脂の経年劣化評価の有効性
17:20-17:45	安達 直哉	久保内 昌敏	インフラで用いる有機材料の変色を伴う劣化解析事例

開催日:2020年2月6日(木)

会場:大岡山キャンパス 南3号館 S321講義室

時間	発表者	指導教員	論文題目
10:30-10:55	鬼塚 弥里	山元 公寿	シリカ固定化デンドロンを鋳型とした複合金属酸化物サブナノ粒子の合成
10:55-11:20	清水 佳那	山元 公寿	水素発生反応を用いた合金サブナノ粒子の特性評価
11:20-11:45	清水 美沙	山元 公寿	ポロフェン類縁体の液晶特性
11:45-12:10	富加津 智哉	山元 公寿	酸化銅サブナノ粒子の酸化触媒特性
12:10-13:15	昼休み		
13:15-13:40	山下 拓也	山元 公寿	ポロフェン類縁体の電気特性
13:40-14:05	山田 朱莉	山元 公寿	電気化学測定による白金サブナノ粒子触媒の核数依存性の解明
14:05-14:35	森合 達也	山元 公寿	多元合金サブナノ粒子の合成と触媒特性
14:35-14:45	休憩		
14:45-15:10	木村 善洋	谷口 泉	バナジウムレドックスフロー電池の電池特性の改善
15:10-15:35	角田 雄亮	谷口 泉	金属酸化物/カーボン複合体の合成とリチウム酸素電池電極触媒へのその応用
15:35-16:00	山田 祐樹	山元 公寿	局所電磁場増強特性の理解による高感度表面増強ラマン分光法の開拓
16:00-16:25	西山 和輝	今岡 享稔	メタロペプチドを鋳型とした新規サブナノ粒子合成法の開拓

開催日:2020年2月6日(木)

場所:大岡山キャンパス 南4号館 S422講義室

時間	発表者	指導教員	論文題目
9:30-9:55	上福元 研生	渕野 哲郎	プロセス操作条件を考慮した腐食環境モニタリングシステムの構築
9:55-10:20	神例 幸朋	渕野 哲郎	熱回収量改善のためのプロセス改造設計
10:20-10:45	石川 敦之	関口 秀俊	マイクロ波加熱流動層を用いたメタン熱分解反応によるCO2フリー水素製造
10:45-11:10	村上 遼太	関口 秀俊	プラズマ反応場における共振器の効果
11:10-11:35	鳥居 翔一	関口 秀俊	電場を利用したCO ₂ 固体吸収材内部の拡散促進
11:35-12:00	ONG HUIYANG	大川原 真一	UV LED-Based Coiled Photocatalytic Reactor and Its CFD Simulation
12:00-13:20	昼休み		
13:20-13:45	岡田 真弥	吉川 史郎	タンパク質溶液の限外濾過に及ぼす陽イオンの影響
13:45-14:10	前川 真里奈	吉川 史郎	攪拌槽による乳酸からの水素生成プロセスに関する研究
14:10-14:35	佐々木 英乃	田巻 孝敬	直接乳酸塩溶液型SAFC用エーテルフリー芳香族系アニオン伝導膜の開発と電池性能評価
14:35-15:00	日原 拓哉	田巻 孝敬	金属酸化物を担体に用いたアルカリ水電解用コンポジット電極触媒の開発
15:00-15:25	山崎 はるか	山口 猛央	膜内水移動および反応拡散を考慮した水素／直接乳酸塩溶液型固体アルカリ燃料電池モデルの構築
15:25-15:40	休憩		
15:40-16:05	井村 悠	山口 猛央	シリカコート法によるPt-Feナノ粒子連結触媒の構造制御と酸素還元特性の高性能化
16:05-16:30	泉田 晃弥	山口 猛央	アントラセン二量体を用いた活性な酵素固定化手法の開発
16:30-16:55	下川 達也	山口 猛央	メンブレンクロマトグラフィーに向けた多重モード応答性高分子グラフト膜の設計・開発
16:55-17:20	泉妻 優介	吉川 史郎	中空糸膜型ダイライザーの操作モードが透過現象に及ぼす影響
17:20-17:45	石井 将規	大川原 真一	局所撥水加工が湿式サイクロンの分離効率に及ぼす影響

2020年3月修了 応用化学コース修士論文発表会

【発表時間】修士修了：発表15分－質疑9分－交代1分，進学予定者：発表15分－質疑14分－交代1分

開催日：2020年2月7日（金）

会場：大岡山キャンパス 南4号館 S421講義室

時間	発表者	指導教員	論文題目
9:00-9:25	澤田 純也	村橋 哲郎	パラジウム複核種を用いたチオフェン及びセレンフェンの架橋配位能の解明
9:25-9:50	宮澤 孝矢	村橋 哲郎	トロピリウム及びシクロオクタテトラエンを架橋配位子として有する13核パラジウムクラスターの合成と構造
9:50-10:15	森平 梨紗子	村橋 哲郎	シクロノナテトラエニル配位子を有するパラジウム単核及び複核錯体の合成と構造
10:15-10:40	米田 壮汰	村橋 哲郎	トロポンパラジウム三核サンドイッチ錯体の合成とその還元挙動
10:40-11:05	佐々木 航汰	村橋 哲郎	パラジウムI価錯体の合成と1,3-ジエン異性化促進機構の解明
11:05-11:30	佐貫 黙雷	稲木 信介	バイポーラ電解法に基づく芳香族化合物の電解酸化反応に関する研究
11:30-12:00	古性 大亮	稲木 信介	フルオロオレフィン構造を有するジスチリルベンゼンの合成と物性評価
12:00-13:10	昼休み		
13:10-13:40	廣畑 智紀	稲木 信介	電解集積化による多孔性有機構造体の構築と形状制御
13:40-14:05	東田 和樹	田中 浩士	非ヒト型シアル酸を含む $\alpha(2, 8)$ シアル酸重合体の合成研究
14:05-14:30	深川 由季	田中 浩士	エビガロカテキン-3-O-ガラートの位置選択的修飾化を利用するウーロンホモビスフラバン類の合成研究
14:30-14:55	山田 遥香	田中 浩士	好酸菌感染阻害作用を有する $\alpha(1,2)$ 分岐マンナン誘導体の合成研究
14:55-15:20	池田 圭輔	小西 玄一	アラインの挿入反応を用いる高口バラスト性ホスホニウム塩類の開発と高分子電解質膜への応用
15:20-15:35	休憩		
15:35-16:05	AMIR SHARIDAN	小西 玄一	Synthesis and Study of Structurally Simple Aggregation-Induced Emission Active Luminogens and Their Polymeric Applications
16:05-16:30	谷口 諒	穂田 宗隆	有機光レドックス触媒を用いたモノフルオロアルキル化反応： β -モノフルオロ置換ケトンの新合成法
16:30-16:55	松下 悠貴	穂田 宗隆	可視光誘起による <i>N</i> -イミノピリジニウム誘導体からの位置選択的置換フェナントリジン合成
16:55-17:20	矢代 篤士	穂田 宗隆	チオエーテル基をアンカーとして持つ有機金属分子ワイヤーの酸化還元応答能と単分子電気伝導度の評価

開催日：2020年2月7日（金）

会場：大岡山キャンパス 南6号館 S611講義室

時間	発表者	指導教員	論文題目
9:30-9:55	川瀬 道啓	原 正彦	探針増強ラマン分光法を用いたナノスケール異性化反応制御とその場分光分析
9:55-10:20	丸一 優理子	原 正彦	Fabrication and Characterization of Metal Nanogap Structures for Single Biomolecular Analysis
10:20-10:45	金 旻宣	原 正彦	Mechanisms underlying the Heterodimerization of Amino Acids on TiO_2 Surfaces
10:45-11:10	小林 知央	大友 明	超伝導 Ti_4O_7 の薄膜合成と電気特性制御
11:10-11:35	野口 裕太郎	大友 明	磁性遷移金属酸化物超格子構造の作製と低温還元法の検討
11:35-12:05	矢島 達也	大友 明	リチウム脱挿入反応によるバナジウム酸化物薄膜の電子状態制御
12:05-13:05	昼休み		
13:05-13:30	小林 安貴	一杉 太郎	界面修飾層による全固体薄膜Li電池の電気化学ポテンシャル制御
13:30-14:00	小松 遊矢	一杉 太郎	希土類酸水素化物エピタキシャル薄膜の作製と光誘起物性評価
14:00-14:25	清宮 健	一杉 太郎	MoxReyO ₂ 薄膜の合成と電子輸送特性評価
14:25-14:55	渡邊 佑紀	一杉 太郎	薄膜型全固体Li電池のメモリデバイス応用：多機能化と動作機構の解明
14:55-15:20	坂本 紘一	北村 房男	グラファイト電極上における銀の析出・溶解に関する電気化学的研究
15:20-15:45	古谷 大稀	馬場 俊秀	抗酸化物質がメタン資化性菌の増殖と細胞内代謝系に及ぼす影響

開催日：2020年2月7日（金）

会場：大岡山キャンパス 南4号館 S423講義室

時間	発表者	指導教員	論文題目
9:00-9:30	阿部 諒太	小坂田 耕太郎	フレキシブルな二座配位子をもつ新規金(I)錯体の動的挙動および反応性
9:30-10:00	DING Siming	小坂田 耕太郎	Activation of Si-H bond of hydrosilanes and catalysis on the germylene bridging triangular Pt_3 complex
10:00-10:25	大熊 一輝	小坂田 耕太郎	チオラト金(I)錯体を用いたケイ素配位子を有する新規遷移金属錯体の合成
10:25-10:50	吉澤 憲	小坂田 耕太郎	チアントレン骨格を有する新規白金二核錯体の合成と酸化還元
10:50-11:00	休憩		
11:00-11:25	BAYARSAIKHAN SAIKHANTSETSEG	野村 淳子	酸化的メタン改質用金属含有ゼオライト触媒の開発
11:25-11:50	鈴木 智之	桑田 繁樹	1,3-ジフェニルホスフィノベンゼンで架橋された貴金属二核錯体の合成と反応性
11:50-12:15	津田 悠人	桑田 繁樹	C-Nキレート型プロテックピラゾール配位子を有するロジウム、イリジウム錯体の反応性と触媒作用
12:15-13:20	昼休み		

13:20-13:50	井上 恵希	福島 孝典	高い構造対称性を持つジアザシクロオクタン骨格含有ラダーポリマーの合成と物性
13:50-14:15	大淵 萌々子	福島 孝典	立体規則的なジアザシクロオクタン骨格含有ラダーポリマーの合成、性質、および配座柔軟性スイッチング挙動
14:15-14:40	河原 慎太郎	福島 孝典	橋頭位置換三脚型トリブチセンを分岐部位とした新規多分岐高分子の合成と性質
14:40-15:10	CHEN Yugen	福島 孝典	Self-Assembly and Physical Properties of Tripodal Triptycene-Terminated Telechelic Polymers
15:10-15:20	休憩		
15:20-15:45	池田 裕樹	戸木田 雅利	架橋非晶鎖が両端に結合した主鎖型ネマチック液晶性高分子のマイクロ相分離構造と伸縮挙動
15:45-16:10	工藤 寛之	戸木田 雅利	Side-on型メソゲンを有するポリ置換メチレンの液晶構造
16:10-16:35	千葉 詩穂	戸木田 雅利	α ヘリックスポリペプチドとポリメタクリレートからなるブロック共重合体の溶液キャストフィルム中のマイクロ相分離構造

開催日:2020年2月7日(金)

会場:大岡山キャンパス 南3号館 S321講義室

時間	発表者	指導教員	論文題目
10:55-11:20	杉田 知陽	高尾 俊郎	低原子価インジウム種を有する二核錯体の合成検討
11:20-11:45	堀 直人	和田 裕之	液中レーザーアブレーション法を用いたコール酸ナトリウム修飾2,3-ナフタロシアンナノ粒子の作製と光音響イメージングへの応用
11:45-13:25	昼休み		
13:25-13:50	中川 智尋	本倉 健	ケイ素系還元剤を用いた第四級アンモニウム塩触媒によるCO ₂ 変換反応
13:50-14:15	川嶋 沙依	本倉 健	メソポーラスシリカ固定化Pd錯体と添加塩基によるメソ細孔内での求核剤アリル化反応の促進
14:15-14:40	長塚 祐樹	本倉 健	アンモニアの炭酸塩類から尿素への変換反応に対する触媒系開発
14:40-14:50	休憩		
14:50-15:15	栗山 史也	山中 一郎	インジウム触媒によるメタン脱水素多量化反応におけるZSM-5担体効果
15:15-15:40	星野 良輔	山中 一郎	白金酸化物触媒上での水とプロピレンの共電解によるプロピレンオキサイド直接合成
15:40-16:05	山下 拓也	山中 一郎	水と空気の電解による純過酸化水素水の直接合成

開催日:2020年2月7日(金)

場所:大岡山キャンパス 南4号館 S422講義室

時間	発表者	指導教員	論文題目
9:00-9:25	高橋 昂	多湖 輝興	マイクロ波加熱に適したMWW型ゼオライト前駆体シートと酸化タングステンシートとの交互積層体触媒の調製
9:25-9:50	土池 雅仁	多湖 輝興	アリル酸化反応の高活性化を目指したBi-Mo酸化物担持Co-Fe-Mo複合酸化物触媒の構造制御
9:50-10:15	中川 航司	多湖 輝興	イオン交換樹脂を前駆体とした炭素担持金属触媒によるC4、C5ポリオール類の水素化脱酸素反応系の構築
10:15-10:40	陳 章宏	多湖 輝興	Zeolites with One-dimensional Pore Structures as Catalysts in Alpha-olefin Synthesis from Straight-Chain Alkane (一次元細孔をもつゼオライトを触媒とする直鎖アルカンからの α -オレフィンの合成)
10:40-11:05	蒔田 宣人	森 伸介	CH ₄ - CO ₂ 圧カスイングプラズマによる液体炭化水素の直接的合成
11:05-11:30	松下 颯太	森 伸介	大気圧空気プラズマジェットの特性評価と低侵襲表面処理応用のための最適化
11:30-11:55	松村 悠生	森 伸介	並列カーボンナノウォールの合成と転写プロセスによる異方性導電膜への応用
11:55-13:20	昼休み		
13:20-13:50	齊藤 彰吾	大河内 美奈	ペプチド界面を用いたミグラソーム様小胞のイメージング
13:50-14:15	林 美伶	大河内 美奈	ペプチドによるプラズモニック金ナノ粒子合成技術の探究
14:15-14:50	児美川 拓実	大河内 美奈	曲率を制御した人工生体膜によるがん細胞由来の曲率認識タンパク質の網羅的探索
14:40-15:10	PRONDZINSKY Alannah Paulina	豊田 栄	Cyanobacteria under Paleoenvironmental conditions
15:10-15:25	休憩		
15:25-15:50	石丸 拓実	吉田 尚弘	有機酸の部位別炭素同位体分布計測手法の開発とその自然由来成分への応用
15:50-16:15	島田 頌太	吉田 尚弘	環境プラスチックの起源履歴解明に資する安定同位体比分析の有用性の検討
16:15-16:40	寺嶋 晃太郎	吉田 尚弘	東部インド洋の一酸化二窒素の分布とその生成・消滅メカニズムの解明
16:40-17:05	大住 菜月	山田 桂太	簡便かつ迅速な飲料エタノールの部位別水素同位体比分析法の確立
17:05-17:30	白瀧 凜司	山田 桂太	アミノ酸の部位別炭素同位体分析法の開発:国際標準物質の整備